

# ともに

12

2022年  
春号

特集

内視鏡センター  
心ある医療を目指して



## 市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。

## 専門医による、精度の高い人間ドック 生活習慣を見直すきっかけをつくりましょう

市立吹田市民病院では、完全予約制で健康チェックができる「人間ドック」を3コース（一般ドック、脳ドック、一般ドックと脳ドックをセットにした総合ドック）ご用意しています。

コロナ禍で来院を控える方も多い昨今ですが、病気は早期発見が第一です。ぜひ定期的な受診で、元気な毎日をお過ごしください。

### ■専門医による検査を行っています

内科・放射線科・耳鼻科・眼科等それぞれ専門のドクターが診断を行います。また、保健指導や栄養指導を併せて行うことで、健康で過ごすためのきっかけ作りとしても役立てていただいています。

### ■バリウム検査を廃止、胃カメラ検査へ統一

胃がんのリスクの早期発見を目的に、令和4年度からバリウム検査を廃止し、胃カメラ検査に統一させていただきました。胃カメラであれば胃の病変だけでなく、胃がんの原因となるピロリ菌感染の有無も判断できます。年齢が上がるほど胃がんの発生率は高くなりますので、ぜひ定期的な検査で早期発見を心がけてください。



一般ドック



脳ドック

## 市立吹田市民病院の Youtube のご案内



内視鏡について  
詳しく更知りたい方は  
市立吹田市民病院の公式チャンネルを  
ぜひご覧ください



- ① 臨床工学技士
- ② 地域医療連携部門職員
- ③ 内視鏡センター受付
- ④ 洗浄員
- ⑤ 消化器内科医師

# 潜入！内視鏡センター

**① 前処置室**  
おひとりにつき1ブースお使いいただけるようになっています。

**② トイレ**  
スペースが広く、ウォシュレットなどもついています。

**③ 検査室**  
検査後に転倒することを避けるため、ベッドで寝たままリカバリ室へ移動していただけます。

**④ リカバリ室**  
検査後はこちらの部屋でゆっくりと休んでからお帰りいただけます。

更衣室、受付、待合

皆さまの健康を、チームワーク医療で守りたい  
ぜひ気軽にがん検診を！

内視鏡検査は怖くないですよ

**消化器内科部長・内視鏡センター長**  
ながいけ こうじ  
**長生 幸司**

- ① ピロリ菌を除去すれば、胃がんは減らせます**  
日本では年間5万人近くが胃がんで死亡しており、その98%がピロリ菌感染者と言われています。つまり、ピロリ菌を撲滅すれば胃がんも減らせるため、定期的な検診を推奨しています。年齢が高いほど、罹患率は上がりますが、20代でもピロリ菌感染から胃がんになる方がおられますので、若いうちに検査をしておくことで安心です。  
もし感染していても、服薬で除菌することができます。
- ② 50歳以上の吹田市民へ、内視鏡での胃がん検診**  
吹田市では2020年から、内視鏡による胃がん検診を開始しました。満50歳以上で一定条件を満たせば、1回2,000円(65歳以上無料)で内視鏡による検査が受けられます。昨今の内視鏡は進化しており、体への負担が少なく精度の高い検査が可能です。コロナ禍で検診から足が遠のき、進行がんが増えることのないよう、ぜひ積極的に検診を受けて、早期発見を心がけましょう。
- ③ 内視鏡センターは、チームワークが自慢です**  
内視鏡センターの大きな特徴として「チームワーク」が挙げられます。中でも臨床工学技士がいることは心強く、カメラの整備から介助までサポートしてもらっています。また、重篤な症例にチーム一丸となって対応することが多いため、団結力も抜群です。なお、チームには女性ドクターが在籍していますので、女性による検査を希望される方は、遠慮なくお伝えください。

## 医師・看護師・臨床工学技士らによる「チーム医療」



**最新機材や技術進歩により  
体に負担の少ない検査が実現**

鼻から通す胃カメラをはじめ、昨今の内視鏡はとても進化しています。当院の内視鏡センターでは、超音波で胃や腸以外の臓器も体内から検査することが可能です。

また、鎮静剤を用いて検査時の負担を減らす処置のほか、看護師が背中をさする、お声がけをするなど、患者さまの安心につながるケアにも力を入れています。消化器の病気は早期発見すれば多くが完治できるので、ぜひ定期的な内視鏡検査を心がけてください。

臨床工学技士  
かながわ たくみ  
**金川 拓未**



**快適に検査を受けていただける  
ホスピタリティに注力しています**

飛沫防御バリア設置やマスク着用での検査など、コロナ対策を徹底しています。

また、個人ごとの専用トイレや個室の更衣室は、プライバシーや安心感の上で高い評価をいただいています。

検査後はベッドに寝たままリカバリ室へ移動してもらいます。検査準備にはレンジ調理できる検査前日用の「大腸検査食」を院内で販売するなど、どなたにも安心して快適に内視鏡検査を受けていただくため、様々な工夫をしています。

内視鏡センター看護師  
なおふじ ともか  
**大藤 智香**



**所見がないのも実は所見のひとつ  
スッキリするためにも検査は重要**

症状をインターネットで調べて不安になり「内視鏡検査を受けたい」と来院される方が少なくありません。大半は所見がない方ですが、実は「所見がないのも重要な所見」です。機能異常ではない体の衰えなどを理解すればスッキリしますし、所見が出た場合は治療に進めるので、検査は所見が出た場合も出なかった場合もメリットがあります。近年は鎮静剤が導入され、検査の負担が大幅に軽減されました。我々医療者も、積極的に最新の情報を発信していきたいと思っています。

消化器内科医師  
ささがわ ひろかず  
**笹川 廣和**（令和4年4月1日付で  
大阪市内の病院へ異動）



**大腸がんは自覚症状が出にくい  
早期発見には検査が必須です**

年齢が上がるほど大腸がんリスクが高まるため、症状がなくても検査をおすすめしています。便の検査で潜血があれば内視鏡検査を行います。約44%にポリープ、約7%にがんが見つかります。大腸がんは他のがんと比べて治療法が豊富で、早期治療すれば命に関わらないケースが多い一方、自覚症状がない方が大半であり、発見には検査が必須です。働き盛りで忙しい方も、40歳を過ぎたらぜひ積極的に検査を受けましょう。

消化器内科医師  
ながい けんじ  
**長井 健悟**

**内視鏡に使うあれこれ**

内視鏡の細いチューブの中には、検査や治療で必要となるさまざまな機能が搭載されています。鼻から挿入するカメラは鉛筆より細くなっています。

直視鏡	側視鏡	超音波内視鏡
<p>一般に胃検診、大腸検診に使用するスコープです。スコープの先端にカメラやライトなどが付いており、消化管の観察の他、胃や大腸の組織を採取したり、切除したりと一番多く使われるスコープです。</p>	<p>スコープの側面にカメラが付いており、胃や大腸などの壁面の観察に優れており、直視鏡では見づらい部分の観察に使用します。</p>	<p>スコープの先端から出る超音波を利用し、十二指腸や胃などから、膵臓や肝臓などの腹部エコーでは観察しづらい臓器の観察やがんの進行度を診断するのに使用します。</p>



**検査用パンツ**

大腸検査は恥ずかしいイメージはありませんか？大腸の検査では写真の検査用パンツに着替えていただきます。検査用に作られていて、お尻の部分だけ穴の開いたパンツです。履いたまま検査をすることが出来ます。少し恥ずかしさが和らぎませんか？